

「敗血症病態における血小板減少症への補体系活性化の関与とその治療戦略の開発」
に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	敗血症病態における血小板減少症への補体系活性化の関与の研究 (敗血症時に血小板数が低下してしまうメカニズム解明に関する研究)
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	〔(所属) 救急集中治療医学講座 (職名) 教授 (氏名) 渡邊 栄三
研究の対象となる方	「敗血症病態における血小板減少症への補体系活性化の関与とその治療戦略の開発」に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 敗血症性播種性血管内凝固と他の類似疾患との鑑別を目的としています。 〔利用方法〕 得られた疫学データを基に、敗血症性血小板減少という急性期病態の鑑別診断を見落としなく円滑に行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により業務委託先の日本補体学会へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：一次研究で採取した血漿と残余血清を使用 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	愛知医科大学 救急集中治療医学講座 渡邊 栄三
試料・情報を利用する学外の者	一般社団法人 日本補体学会
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年12月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	(各機関で記載してください)